

2050年 まちのビジョン

未来スタイルの
ショーケース

先端技術の未来空間で、見る、感じる、
新たな感動体験ができるまち



4. 地区の「将来の姿」を描く STEP.3

2050年 まちづくりの方針

01. 広場・公園を核としたシンボリック空間



▶ 回遊バリアを解消した、駅前一帯を包む大広場



▲ 地区のシンボル性を高めるコンテンツ



▲ 博物館群の一元的な企画・運営



▲ 民間の自由な活動を支える公園

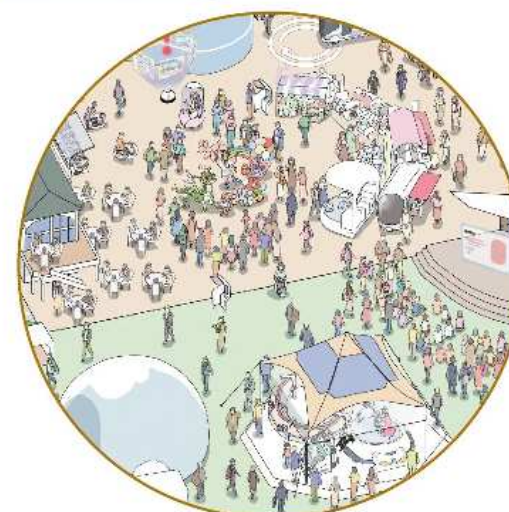


▶ 自家用車の通行制限

02. 「まちごとアート」など、遊び心あふれる場



▲ 自由な表現・活動を支える広場



▲ 個性あるチャレンジショップ



▲ アートが散りばめられた公共空間

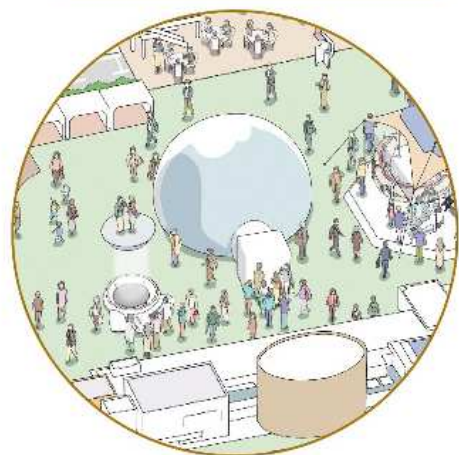
4. 地区の「将来の姿」を描く STEP.3

2050年 まちづくりの方針

03. 実証フィールドの提供、実装に向けたサポート等、 チャレンジする企業のバックアップ環境



▲ 完全自動運転を見据えた道路空間の再編・実証実験



▲ 高速通信等、情報インフラの充実



▲ 実証サポート・ビジネスマッチング



04. 先端技術のショーケース・ラボ



▲ 研究者の交流を促すコミュニケーションスペース



▲ 来街者に開かれたオープンラボ



▲ 実証フィールドに隣接した研究室・ラボ



▲ 公園内での高空ワークショップ



▲ 先端技術を観光ツールとしてフル活用

4. 地区の「将来の姿」を描く STEP.3

2050年 まちづくりの方針

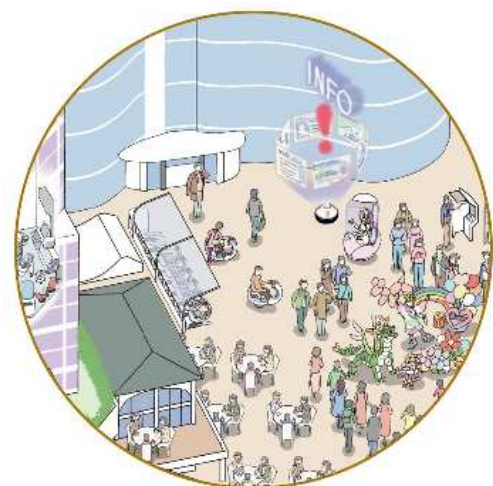
05. 広域から集客し、市内に送り出す 集客ポンプ



▲空飛ぶクルマによる夜景観光



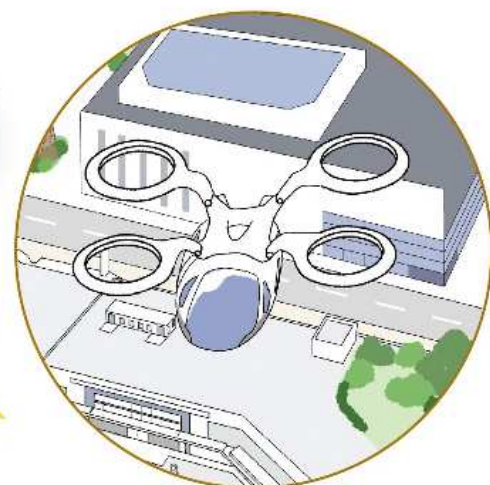
▲ナイトクルーズ



▲地区内回遊モビリティ



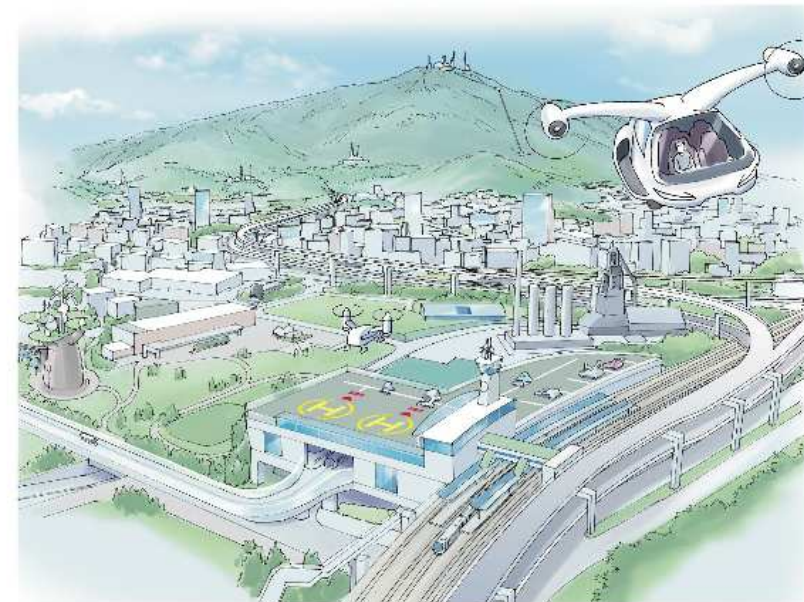
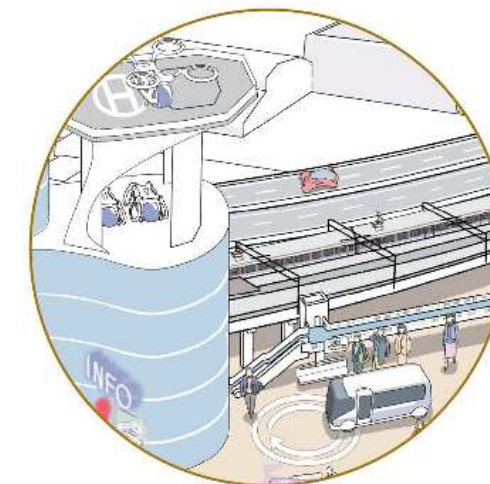
▲先端技術を活用した、高いコンシェルジュ機能を持つツアーデスク



06. 拠点性の高いステーション



▲地区の玄関口にふさわしい駅前空間



▲バスターミナル拠点の構築



▲多様な人が集まる広場